

「フォンタン手術術後遠隔期の体肺静脈側副血行路の臨床経過についての研究」  
へのご協力をお願い

神奈川県立こども医療センター循環器内科では2005年1月1日から2009年12月31日に当院にて初回フォンタン手術を行い、2022年1月31日までに術後遠隔期のカテーテル検査を行った患者さんを対象に体肺静脈側副血行路の臨床経過についての研究を実施しています。この研究はフォンタン手術術後遠隔期の体肺静脈側副血行路の危険因子や臨床経過について把握し、適切な治療戦略を検討することに役立つと考えております。

研究課題名	フォンタン手術術後遠隔期の体肺静脈側副血行路の臨床経過について
研究の対象	2005年1月1日から2009年12月31日に当院にて初回フォンタン手術を行い、2022年1月31日までに術後遠隔期のカテーテル検査を行った患者さん
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	目的：フォンタン手術術後遠隔期の体肺静脈側副血行路の危険因子や臨床経過について把握し、適切な治療戦略を検討すること 方法：年齢・性別・体格などの基本情報、カテーテル検査などの検査情報を基に後方視的研究を行う
研究期間	2023年3月～2023年3月31日
研究に使用する試料・情報の種類	年齢・性別・体格などの基本情報、カテーテル検査などの検査情報
研究実施機関（研究組織）	独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター循環器内科 研究責任者：築野 一馬
外部への試料・情報の提供とその方法	本研究では院内のみの使用で、外部に試料・情報の提供はありません。
情報の管理について責任を有する者・所属	循環器内科 築野 一馬 個人情報管理責任者 同上

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMAフォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021年6月30日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。

また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

開示すべき利益相反はありません。

本研究の対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないしてほしい等のご要望がございま

したら、下記連絡先までご連絡ください。研究データからお子さんの情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、解析開始後あるいは公表後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者 循環器内科  
築野 一馬

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構  
神奈川県立こども医療センター  
総務課 倫理委員会事務局  
Tel : 045-711-2351 内線 2212